

# 未経験からDS転職完全ガイドブック

転職活動のバイブル - ステップバイステップで夢を実現

## 📖 目次

- **01** ステップバイステップのロードマップ
- **02** スキルチェックリスト（技術・ビジネス・PF）
- **03** データサイエンティスト向け履歴書テンプレート
- **04** 面接質問例と回答例（技術・行動）
- **05** 教育訓練給付金 活用フロー図解

## 🌍 ステップバイステップのロードマップ

未経験からデータサイエンティスト（DS）として転職するための標準的なタイムラインです。各フェーズの目標を意識して進めましょう。

### Step 1: 基礎学習・インプット

目安: 1-2ヶ月

主な活動：Python基礎、統計学入門、SQL基礎

プログラミングの文法と、データを扱うための数学的基礎を固める時期です。CODORのカリキュラム前半部分に該当します。

✅ 達成目標：Pythonで簡単なコードが書ける、基本統計量が理解できる。



### Step 2: 応用スキル習得・分析実践

目安: 2-3ヶ月

主な活動：機械学習モデル構築、EDA（探索的データ分析）、Kaggle挑戦

実際のデータセットを用いて分析を行うフェーズです。モデルの精度向上だけでなく、データの前処理や特徴量エンジニアリングを学びます。

✅ **達成目標**：一通りの分析フロー（前処理～モデリング～評価）を自力で完遂できる。



### Step 3: ポートフォリオ構築

目安: 1ヶ月

主な活動：GitHub整理、オリジナル課題の解決、Qiita/Zenn執筆

採用担当者に「何ができるか」を証明する成果物を作成します。ビジネス課題を想定した分析テーマを設定することが重要です。

✅ **達成目標**：面接で説明できる質の高いプロジェクトを2～3個完成させる。



### Step 4: 応募・面接・内定

目安: 1-2ヶ月

主な活動：書類作成、カジュアル面談、技術面接、最終面接

エージェントや求人サイトを活用し、積極的に応募します。未経験枠は競争率が高いため、行動量が鍵となります。

✅ **達成目標**：内定獲得。条件交渉を経て入社承諾。

## ✔ スキルチェックリスト

転職活動開始前に、以下のスキルセットを確認しましょう。全て完璧である必要はありませんが、自信を持って「はい」と言える項目を増やしていくことが重要です。

### A. 技術スキル (Technical Skills)

- Pythonの基本文法（リスト、辞書、関数、クラス）を理解している
- Pandasを使用してデータの読み込み、加工、結合、集計ができる
- Matplotlib / Seaborn を使用して目的に応じたグラフを描画できる
- SQLを用いてデータベースから必要なデータを抽出・集計できる (JOIN, GROUP BY等)
- Scikit-learnを用いて基本的な機械学習モデル（回帰、分類）を構築できる
- モデルの評価指標（RMSE, AUC, F1-score等）の意味を理解し、使い分けられる
- 基礎的な統計知識（平均・分散・標準偏差・仮説検定）を持っている

### B. ビジネス・ソフトスキル (Business Skills)

- 曖昧なビジネス課題を、データで解ける問題（分析課題）に落とし込める
- 分析結果を専門用語を使わずに、非エンジニアに向けてわかりやすく説明できる
- 論理的思考力（ロジカルシンキング）を用いて仮説構築ができる
- チームでの開発やプロジェクト進行に必要なコミュニケーションが取れる
- 自らドキュメントや論文を読み、新しい技術をキャッチアップできる

### C. ポートフォリオ・実績 (Portfolio)

- GitHubアカウントを持ち、コードを公開している（ReadMeが充実している）
- チュートリアルや写経ではない、オリジナルの分析プロジェクトが1つ以上ある
- 技術ブログ（Qiita, Zenn, Note等）で学習のアウトプットを行っている
- Kaggleなどのコンペティションに参加した経験がある（順位問わず）
- 職務経歴書に、前職での「データ活用による改善実績」を数値で記載できる

# 履歴書・職務経歴書テンプレート

データサイエンティスト向けに特化した職務経歴書の構成案です。Word等で作成する際の参考にしてください。

## CODOR 太郎

GitHub: [github.com/codor-taro](#)

Qiita: [qiita.com/codor-taro](#)

1995年1月1日生 | 東京都在住 | [codor.taro@example.com](#)

### ■ 職務要約

現職では〇〇業界の営業職として5年間従事。顧客データの分析を通じて営業効率を15%改善した経験からデータサイエンスに興味を持ち、CODOR BootCampにて6ヶ月間集中的に学習。Pythonによる機械学習モデル構築、SQLによるデータ抽出、ビジネス課題解決の実践スキルを習得しました。

### ■ テクニカルスキル

言語・ライブラリ	Python (Pandas, NumPy, Scikit-learn, Matplotlib, Seaborn), SQL
環境・ツール	Jupyter Lab, Docker, Git/GitHub, AWS (EC2基本操作), Tableau
知識領域	統計的仮説検定, 機械学習 (回帰・分類・クラスタリング), 時系列解析

### ■ 開発・分析ポートフォリオ

#### 【プロジェクト名】小売店チェーンの売上予測モデル構築

- 概要: 過去2年間のPOSデータと気象データを結合し、翌週の店舗別売上を予測
- 使用技術: Python, LightGBM, SQL
- 工夫点: 天候情報のラグ特徴量を追加し、精度 (RMSE) をベースラインから20%改善
- URL: [https://github.com/codor-taro/sales-prediction](#)

#### 【プロジェクト名】顧客セグメンテーションによるDM最適化

- 概要: 購買履歴からのRFM分析とK-meansによるクラスタリングを実施
- ビジネス提案: 優良顧客層を特定し、離脱予兆のある顧客へのクーポン配布施策を提案

### ■ 職務経歴

株式会社〇〇商事 (2018年4月 ~ 現在)

[主な業務]

- ・法人向けオフィス機器の提案営業（担当社数：約50社）
- ・Excelを用いた部署内の売上予実管理表の自動化（VBA）

[実績]

- ・2021年度 下期営業MVP受賞（目標達成率120%）
- ・行動ログ分析により訪問ルートを最適化し、残業時間を月10時間削減



## 面接質問例と回答例

### 技術面接 (Technical Interview)

#### Q. 過学習 (Overfitting) とは何ですか？また、どのように対策しますか？

回答例：過学習とは、モデルが訓練データに適合しすぎてしまい、未知のデータに対する予測精度が下がってしまう現象です。対策としては、データ数を増やす、モデルを単純化する、正則化 (L1/L2) を行う、ドロップアウトを使用する、などが挙げられます。

💡 ポイント：単に用語定義だけでなく、「具体的な対策」をセットで答えるのが鉄則です。

#### Q. 欠損値の処理はどのように行いましたか？

回答例：データの性質によりますが、完全にランダムな欠損であれば削除も検討します。しかしデータ量が少ない場合は、平均値や中央値での埋め合わせ、あるいは前後の値から補間するなどの手法をとりました。このプロジェクトでは、欠損自体に意味があると考え、新たなカテゴリとして扱いました。

💡 ポイント：「なぜその処理を選んだか」という理由付けが最も評価されます。

### 行動面接 (Behavioral Interview)

#### Q. 分析結果が現場の直感と異なった場合、どう対応しますか？

回答例：まずは現場の方の直感の根拠をヒアリングし、私の分析に考慮漏れがないか再確認します。その上で、データが正しい場合は、いきなり否定するのではなく「特定の条件下ではこのような傾向が見られる」といった形で、事実ベースで丁寧に共有し、スモールスタートでの検証を提案します。

💡 ポイント：データサイエンティストとしての「協調性」と「謙虚さ」が見られています。

#### Q. 未経験からなぜDSを目指したのですか？

回答例：前職の営業活動において、経験や勘に頼るだけでなく、Excelで顧客データを分析してアプローチを変えたところ、成約率が向上した経験が原点です。データが意思決定を支える力に感銘を受け、より高度な技術でビジネス課題を解決したいと考え、CODOR BootCampで体系的に学習しました。

💡 ポイント：原体験 (エピソード) + 学習への本気度 (アクション) を一貫性を持って伝えましょう。



## 教育訓練給付金 活用フロー図解

CODOR DataScience BootCampは、厚生労働省の専門実践教育訓練給付金の対象講座です。条件を満たすことで受講料の**最大70%**が還付されます。

### 1 受給資格の確認

ハローワークで自身が支給対象かどうかを確認します。「教育訓練給付金支給要件照会票」を提出して確認するのが確実です。



### 2 キャリアコンサルティング・受講前申請

**【重要】** 受講開始日の**1ヶ月前までに**、ハローワークで「訓練前キャリアコンサルティング」を受け、ジョブ・カードを作成し、受講前申請を行う必要があります。



### 3 CODORへの受講申込・受講開始

講座に申し込み、受講料を支払います。原則、一括払い等の領収書が必要です。



### 4 受講中（6ヶ月ごとに申請）

受講期間中、6ヶ月ごとにハローワークへ支給申請を行います。この段階で受講料の**50%**が支給されます。



### 5 修了・追加給付申請

講座を修了し、かつ修了後1年以内に被保険者として雇用された場合、追加で**20%**が支給されます。(合計70%)

#### ⚠ 注意事項

手続きには厳格な期限があります。「1日でも遅れると受給できない」ため、余裕を持ってハローワークへ相談に行きましょう。

© 2026 CODOR DataScience BootCamp参加者特典制作委員会. All Rights Reserved.

※本ガイドブックは参考資料であり、転職の成功や給付金の受給を保証するものではありません。